



甘くて柔らかい 淡路島たまねぎ

淡路島の豊かな土壌や温暖な気候で育った「淡路島たまねぎ」は、他地域産のものとは比べ、糖度は2%程度高く、柔らかさは約2倍の差があるといわれています。

たまねぎが食卓へ届くまで

淡路島たまねぎは、9月に種をまいて、成長した苗を11～12月に田んぼに植え替えます。そこから寒い冬をじっと耐え、成長します。緑の葉が自然に倒れてから約1週間、葉の付け根が締まると収穫時期です。淡路島たまねぎは、日本で一番長い時間をかけて太陽の日差しを浴びて成長します。



栄養成分がいっぱい

たまねぎに含まれる「ケルセチン」、「アリシン様物質」は、動脈硬化予防や血糖値上昇予防に効果があるといわれています。

たまねぎは、たまねぎ小屋でゆっくり乾燥させることで、紫外線から身を守るために「ケルセチン」が増加します。



たまねぎレシピ

～かんたんたまねぎドレッシング～

材料（4人分）

- たまねぎ 1個
- みりん（はちみつ） 大さじ3
- 酢 1/2 カップ
- 醤油（お好みで） 小さじ2
- 塩 小さじ1
- オリーブオイル 大さじ4と 1/2

作り方

- たまねぎの皮をむき、おろし金ですりおろす
- 調味料とすりおろしたたまねぎを合わせて混ぜる
- お好みで醤油を足すと和風のドレッシングに



その他の
レシピは
こちらから



「あわじ国バーチャン・リアリティ」
ホームページ



あわじ島農協
ホームページ



マスクを届けた菊井真樹さん。照強関からは動画でメッセージが送られました

地元の人への応援の気持ちを込めて

照強関が市へマスクを寄付

いつも応援してくれている地元の人に元気になってもらいたいと、照強関から市へマスク2万枚の寄付がありました。

5月26日に行われた贈呈式には、照強関の母親の菊井真樹さんが代理で出席。東京にいる照強関からは動画で「これからコロナが終息し、皆さまが幸せで健康なことを願っています」と激励の言葉がありました。また、マスクが入った箱にも「コロナに負けるな南あわじ市」や「新たなスタート!」などの直筆の応援メッセージが添えられていました。

寄付されたマスクは、市内の医療機関や福祉施設などで活用されます。

意匠を凝らした2つの庭が調和する

護国寺庭園が県文化財に指定

護国寺（賀集）の庭園が兵庫県の指定文化財となり、6月4日に同寺で指定書交付式がありました。

護国寺は平安時代に創建したとされる寺院。庭園は江戸時代前期に造られた本堂書院庭（南側）と、江戸時代後期の庫裡書院庭（北側）からなっており、別の時代に造られた2つの庭が見事に調和しています。庭園にはひょうたん形の長い池があり、南側には石組みで力強く滝が表現されています。北側は迫力のある石橋が特徴です。

今回の指定で市内の県指定文化財は29件（国は10件、市は40件）となりました。



01



02

01 浅井教育長から指定書を受け取った任職の三富良園さん(右)
02 護国寺の庭園（本堂書院庭から）



ハンドブックを手にする親子ら

子育て支援ハンドブックを作成

子育てに関する情報が満載

市の子育てに関する情報・サービス・問合せ先を1冊にまとめた「子育て支援ハンドブック～2020年度版～」を作成しました。

ハンドブックには、国や県、市独自の子育て支援事業等について、「妊娠がわかったら」「赤ちゃんが生まれたら」「乳幼児の子育て支援」などの各ライフステージに応じた助成制度や支援サービスが掲載されています。また、巻末には親子でお出かけできる市内の公共施設がわかる「おでかけマップ」がついています。市役所や各市民交流センター、図書館などの公共施設および市内ショッピングセンター等に設置しています。ご自由にお持ち帰りください。



子育て支援ハンドブック